



中長期ビジョン 平成29年～平成35年

概要版

# 『未来へ羽ばたく小松に向けて』

～地方創生を実現する商工会議所を目指して～  
第1期アクションプラン

中長期ビジョン 平成29年～平成35年

# 『未来へ羽ばたく小松に向けて』

～地方創生を実現する商工会議所を目指して～

中長期ビジョン実現のための3つの事業展開

1. 中小企業・小規模事業者などが活躍するための取り組みを支援
2. 地方創生実現のため、国・県・市・他の経済団体や大学等と連携し、地域振興への提案、協力を推進する
3. 会員に満足・信頼され、市民に期待される商工会議所となる

理念

商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねては社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国商工業の発展に寄与することを目的とする。

使命

『中小企業・小規模事業者の活力強化』  
『地域経済の活性化』

# 取巻く時代背景

## 1. 現在

- 世界経済は、リスクを含みつつ、おおむね好調。
- 小松地域も概ね回復基調。
- 一部の業種・企業において、人材不足、新商品開発等、厳しい環境。

## 2. 将来

- 4年制大学の開学(平成30年4月)、オリンピック・パラリンピックの開催(平成32年)、北陸新幹線小松開業(平成35年)など更なる成長の実現に向け好機を迎えている。
- この機会を十分活かすための社会資本整備等取組み推進。

## 小松商工会議所の現状と課題

### 1. 現状

- 会員数の減少(組織率の低下)、組織基盤の悪化。
  - ・3,981会員(平成18年度末)▶3,258会員(平成27年度末)
  - ・収入の3本柱▶①会費、②収益事業、③県・市からの補助金、いずれも年々減少傾向

### 2. 課題

- 人口、商工業者減少社会の進展の中、会員企業に対する満足度向上、利用向上を図り、組織基盤の強化を図る必要がある。
- まちづくりや地域活性化、産業立地や新産業の育成など、中長期的な目標のもと、行政や関係団体と連携・協働して取り組む必要がある。

## 小松商工会議所・小松市の強み、弱み

	強み	弱み
内部環境	<p><b>商工会議所</b> 中小企業・小規模事業者支援の実績・信頼、さまざまな業種の集まりなど</p> <p><b>小松市</b> ものづくり産業の集積、北陸トップクラスの交通ネットワーク、豊かな伝統文化・地域資源、良好な自然、教育環境など</p>	<p><b>商工会議所</b> 会員減少による組織基盤の弱体化、具体的な会員メリット不足など</p> <p><b>小松市</b> まちなか商店街の集客力低下、市街地の人口減少、新設企業の活躍の少なさ、誘致企業の少なさ、産業団地環境など</p>
外部環境	JR小松駅南ブロックの完成、4年制大学の開学(予定)、東京オリンピック・パラリンピックの開催、北陸新幹線の小松開業、グローバルマーケットの拡大、環境・エネルギー市場の成長・拡大、健康・医療・市場の拡大など	大型商業施設の出店、国内の人口減少(国内市場の縮小)、経営者の高齢化、人材確保難、地域産業の空洞化、グローバル化による競争力の弱い産業の衰退、まちなか中心部の集客力低下など
	機会	脅威

# 中長期ビジョン第1期アクション

## 基本的な考え方

### 現状

- ・概ね回復基調である地域経済を津々浦々まで届けるまで後一步
- ・人口減少、地域の疲弊という構造的な課題も深刻化
- ・またとない機会が訪れるため、これらを活かす活動推進

企業の取組みを全力でサポートしさらなる成長へ  
小松市の経済発展は、中小企業の経済成長により実現

### 事業展開方針

#### (1) 活躍サポート

- 生産性向上
- 多様な人材活躍
- 成長に向けた取組み

#### (2) 地方創生実現

- 地域資源の活用による域外より需要取込
- 成長基盤の整備
- 機会を活かしたソフト、ハードの取組み推進

#### (3) 期待される商工会議所

- 多様な主体との連携・協力による成長の推進

## 1. 中小企業の活躍サポート

### 1. 中小・中堅企業の生産性向上

- ICT、IoT、AI、ロボット利活用による生産性向上、稼ぐ力の強化
- 創業・新事業展開等への挑戦支援
- 小規模事業者の経営力の向上
- 取引適正化に対する対応支援
- 事業承継時代への対応

#### <主なアクション>

- ICTの利活用による生産現場やサービス分野の生産性向上支援、経営者等の意識醸成
- 創業・新事業展開等に挑戦する方への支援と、創業に対する応援意識の醸成
- 消費税の引上げを見据えた複数税制の対応支援
- 第二創業、経営革新、技術・技能の伝承等事業承継への取組みの推進

### 2. 人手不足に対応した多様な人材の活用と少子化への取組み

- 女性・若者・高齢者、外国人などの積極的な人材活用
- インターンシップ等による人材確保と検定試験を通じた人材の育成
- 企業における少子化対策への取組み支援

#### <主なアクション>

- ワークライフバランスの推進等、働き方改革への取組み
- 若者雇用、高齢者雇用への支援、法令を遵守した外国人労働者受入支援
- 教育機関等と連携したインターンシップを通じた人材確保支援、婚活等の事業支援

### 3. 中小企業の海外展開チャレンジ支援

- 中小企業の輸出・海外販路、海外展開サポート・支援

#### <主なアクション>

- 多様な主体と連携し、商談会や各種セミナー等を通じた海外展開支援

# プラン

## 平成29年～31年に取組む行動計画

### II. 地方創生の実現

#### 1. 地域資源の最大活用による域外需要の取込み

- 農商工連携・6次産業化による商品開発、高付加価値化、販路開拓
- 広域連携による観光振興とインバウンド受入拡大
- ものづくり企業を核とした地域の産業集積、ブランド化

##### <主なアクション>

- 伝統文化、地域資源活用やインバウンドを軸に域外需要、消費の取込み
- 地域製品の販路開拓支援

#### 2. 地方創生を加速化する成長基盤の整備

- 産業誘致の強化
- 創業・新事業展開などへの挑戦支援
- 若者が夢を描けるまちづくりの推進
- 民間の創意を重視したまちづくりの推進
- 人口減少時代を見据えた地域づくりの提案
- 地域活性化を担う人材の確保・育成

##### <主なアクション>

- ヘルスケア・ライフサイエンス分野などの環境の変化に強い企業や、研究機関等の誘致推進
- 創業に対する応援意識の醸成
- (仮称)公立小松大学の開学を踏まえ、まちなかの若者のまちづくり活動参画、活躍支援
- UIターン等、キャリア人材や若者等、活躍できる受入体制の整備推進
- 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)における地域づくりの研究

#### 3. さらなる成長の実現

- 2020年オリンピック・パラリンピック効果の波及、最大化
- 北陸新幹線などストック効果(※1)の高い社会資本の整備促進

※1:整備された社会資本(社会インフラ)が十分に機能することで生み出される中長期的な経済効果

##### <主なアクション>

- オリンピック・パラリンピックの合宿等、関連プログラムの普及・利活用推進
- 社会資本整備の促進のための活動とストック効果を最大限享受できる体制作り

### III. 満足・信頼され、期待される商工会議所

#### 1. 交流・連携促進

- 多様な主体とのネットワークの強化
- 組織財政基盤の強化
- 事業の満足度向上、事業執行機能の強化

##### <主なアクション>

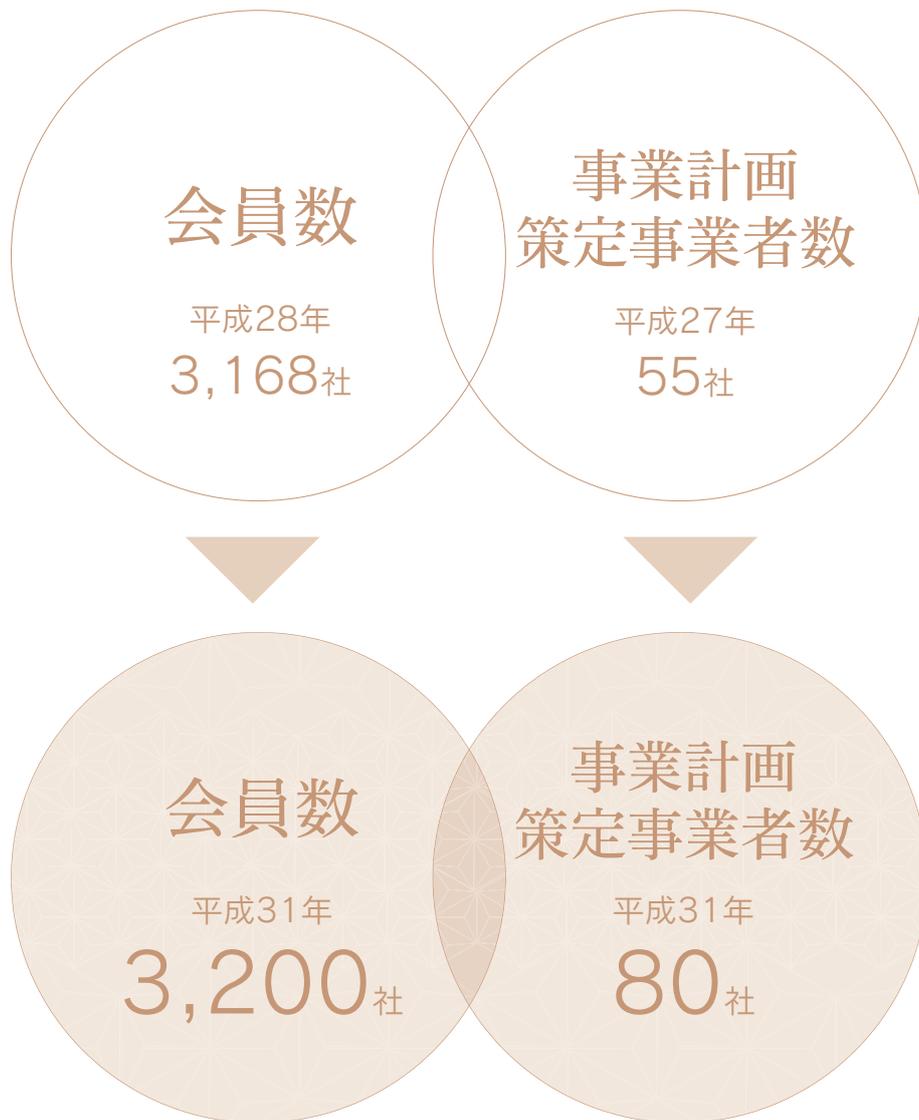
- 商工会議所・商工会間、自治体との連携・協働による事業強化・推進
- 経営支援等の機能強化、検定、共済・保険制度等のサービス・事業の充実・普及
- 青年部、女性会の活動・取組み支援
- 職員研修の強化による人材育成、支援力向上



# 第1期アクションプラン

目標値

## 目標へ挑戦！



### サブ目標 平成31年度

再生計画策定	20社/年	新商品・新技術	4件/年
経営相談件数	1,000件/年	国内展示会商談件数	60件/年
創業率:年(創業実現者数/支援者数)	30%以上(15者/50者)	海外展開サポート	6社/年
制度金融斡旋件数	150件/年	6次産業・農商工連携	4件/年
事業承継支援件数	5件/年		

# アクションプラン抜粋

## 中小企業の活躍サポート

### ・会員企業の生産性向上など活躍支援

ICT、IoT、AI、ロボット利活用による生産性向上、稼ぐ力の強化の企業の取組みを支援します。

創業や新事業展開など皆様と伴走してサポートします。

事業承継時代への対応など取組み支援。

### ・人手不足に対応した多様な人材の活用と少子化への取組みを応援します

女性、若者、シニア、外国人など積極的な人材活用についてサポートします。

インターシップ等による人材確保と検定試験などをつうじた人材育成に取組みます。

会員企業の少子化対策への取組みについて応援します。



## 地方創生の実現（地域経済の活性化）

### ・若者が夢を描けるまちづくり推進

「スポーツ」をキーワードとして、次代を担う若者と一緒にまちづくりなどの事業を展開。若者の地元愛と育み、個性と魅力にあふれ、人をひきつける地域づくりを推進します。



### 期待される商工会議所にむけて

北陸新幹線敦賀開業（平成35年春頃）に向けて開通効果を最大限に引き出し、小松市のみならず南加賀に波及させるための取組み（イベント等）の企画検討。



### ・こまつ地美絵のさらなる振興

里山の低利用資源となっているイノシシ、シカ肉を魅力ある食材として提供・普及させ「こまつ地美絵」として発信。イノシシ等の捕獲、流通、消費等、ビジネスとして成り立つよう各課題について解決に向け取組みます。



### ・九谷焼など伝統工芸品産業の発展と継承

九谷焼など、担い手の育成支援とともに、新商品開発や販路開拓、新分野進出とともに「(仮称)若手作家サミット」の開催など意欲ある取組みを後押しし、活性化を図ります。

### ・魅力ある地域づくり

「白山」、「木場瀧」、「遊泉寺銅山跡」、「小松の石文化」など、優れた文化財や自然・史跡・名勝・天然記念物などその適切な保存、活用を進めます。



